

自閉式ミキシング シャワーバス金具・混合栓

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



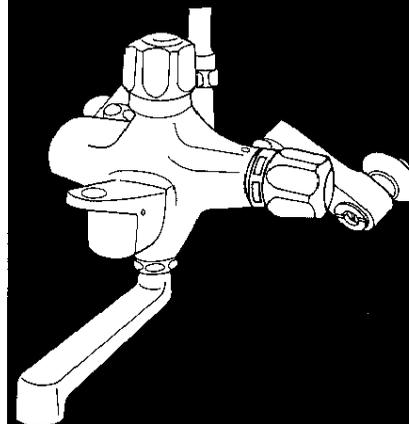
0120-03-1010

受付時間9:00~17:30(土・日・祝日を除く)

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO自閉式ミキシングシャワーバス金具・混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。



もくじ

安全上の注意	1~2
特長・各部のなまえ	3~4
使用前に	5
つかいかた	6
使用上の注意	7~8
ストレーナ及び自閉弁の掃除	9~10
吐水量の調節方法	11
手入れのしかた	11
故障したときは	12

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

(1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(2)お使いになる前に、カラン側がシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。

カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。

やけどをするおそれがあります。

(4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。

直接肌を触れないでください。

やけどをするおそれがあります。(カラン付)

(5)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。

次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(6)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

(7)他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

やけどのおそれがありますので、シャワー使用時の2ヵ所同時使用はなるべく避けてください。(シャワー付)

(8)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。

切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)

(9)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。

凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

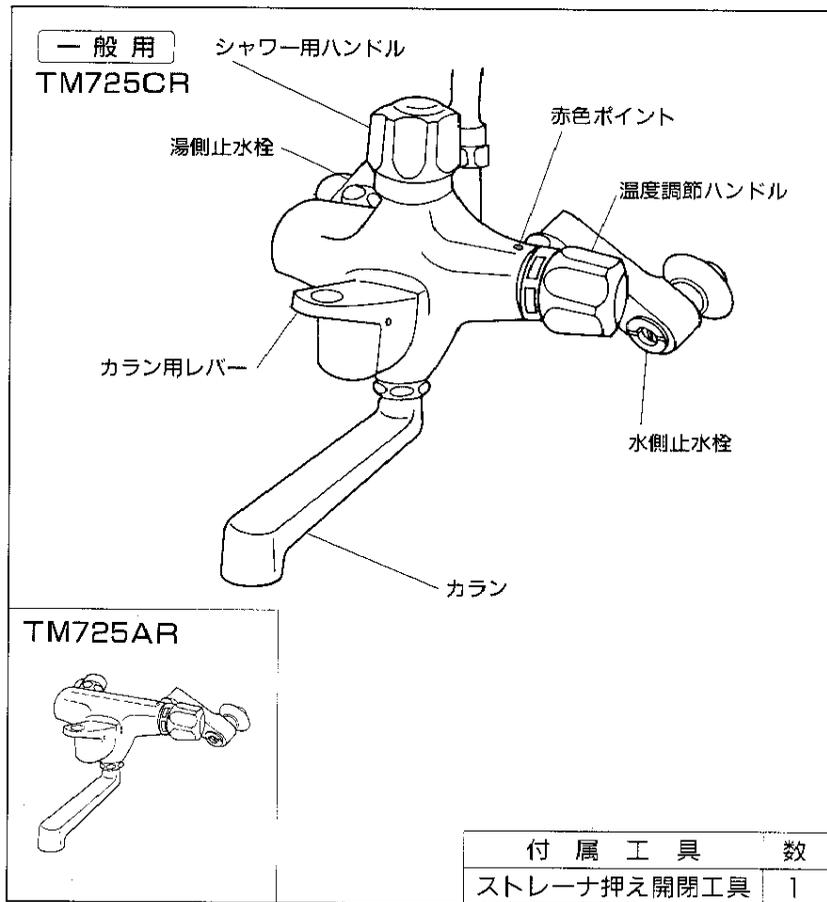
(10)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

特長・各部のなまえ

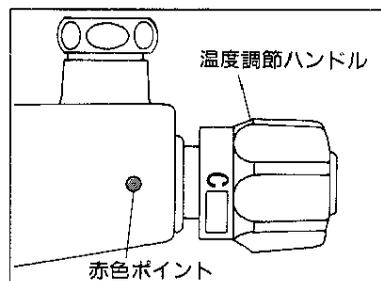
1. カラン用レバーを押すだけでカラン側より一定量吐水し、自動的に止水する自閉弁を内蔵しています。
2. カラン側が自動的に止水するので節水省エネに役立ちます。
3. カラン側吐水量の調節が簡単にできる吐水量調節ねじを設けています。
4. 温度調節ハンドルひとつで水-湯-熱湯と自由に温度調節ができます。

5. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。
6. 圧力調整や内部の分解・清浄に便利な、止水栓を設けています。
7. 機能部がカートリッジ式になっているので、内部の分解・点検が簡単にできます。



使用前に

1. 吐水する前に温度調節ハンドルが「C」になっていることを必ず確認してください。



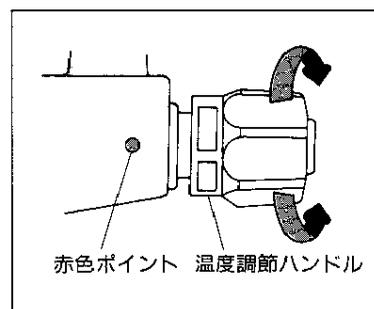
温度調節ハンドルが「H」の位置で吐水させるといきなり熱湯が出て危険です。必ず温度調節ハンドルが「C」になっているかを確認してください。また、使用後は温度調節ハンドルを「C」にしておいてください。

2. 給湯機が瞬間型給湯機の場合は次の処置をしてください。

1. シャワー用ハンドルは全開でご使用ください。
2. 給湯機の温度調節は最高温に設定し、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
3. 適切なシャワー量で適温が得られないときは、給湯機の能力切替つまみで調節してください。

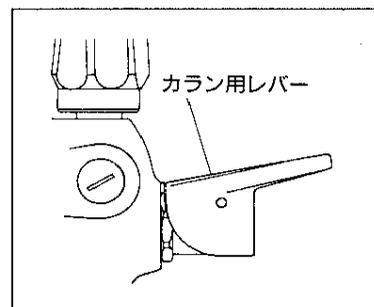
つかいかた

1. 温度調節



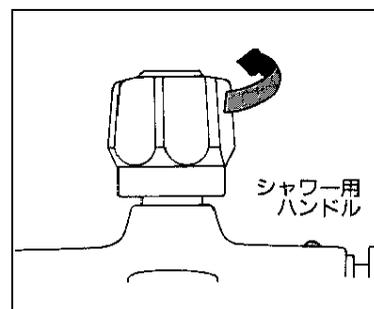
温度調節ハンドルを回しながら湯加減をみてください。赤色ポイントをCに合わせて水が出ます。ハンドルを右に回すと徐々に温度が上がり、Hに合わせて最高の温度になります。なお、温度調節ハンドルでは、湯水を止めることはできません。

2. カラン吐水



カラン用レバーを手で押して離すとカランから一定量吐水し自動的に止水します。

3. シャワー吐水(シャワーバス金具の場合)

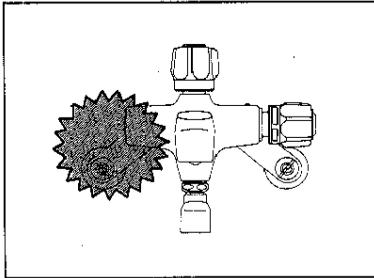


シャワー用ハンドルを左に回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

使用上の注意

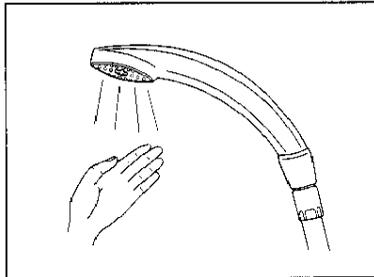
熱湯を使用しますので、火傷などの事故のないよう、必ず注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



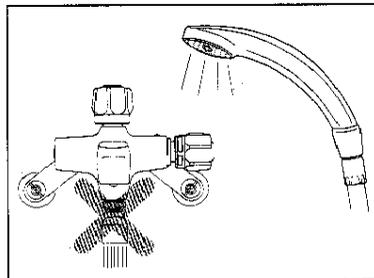
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようにご注意ください。

2. 使用前に湯温を確かめる (シャワーバス金具の場合)



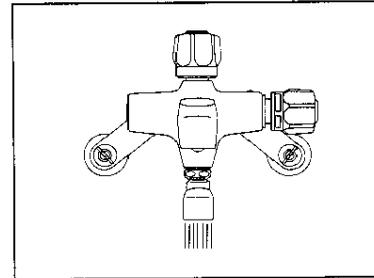
湯加減を調節後、そのままの状態でもラン側からシャワー側へ、又はシャワー側からラン側に操作した場合、湯温が若干変わることがあります。シャワーから出湯させた場合には、念のためもう一度手で湯温を確かめてからご使用ください。

3. シャワー使用中にラン側の使用はできません (シャワーバス金具の場合)



シャワー使用時には、ラン用レバーを押しても少量の吐水量しか出ません。

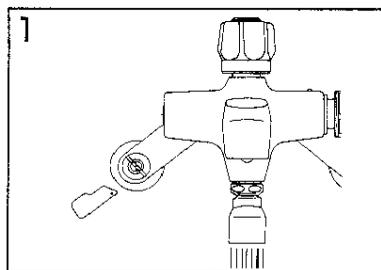
4. しばらく吐水させて使用する



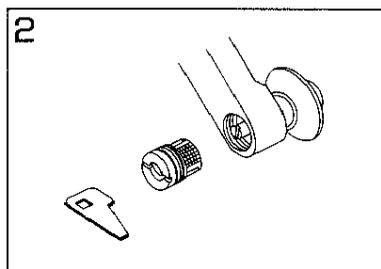
シャワー用ハンドル又はラン用レバーを開いた直後は、給湯管内に溜まっていた高温の湯や、冷水がでることがあります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。

ストレーナ及び自閉弁の掃除

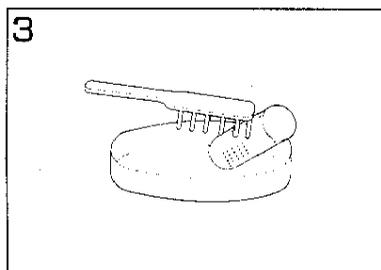
●ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



1 付属の開閉工具で止水栓を閉じてください。



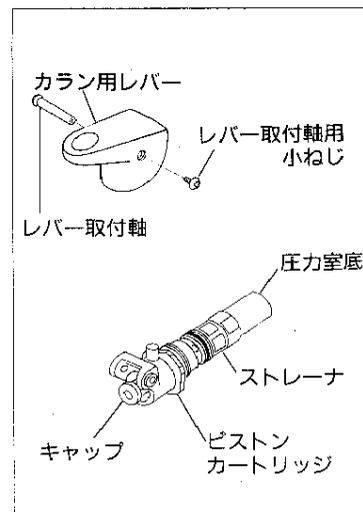
2 開閉工具を溝に差し込みストレーナをゆるめてください。



3 ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

8

●自閉弁のストレーナがつまると吐水量が少なくなるなど機能が十分発揮されなくなります。掃除する場合は次の要領で掃除してください。



1. 止水栓を閉じる。
2. レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカラン用レバーを取外す。
3. ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取出す。
4. ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。

⚠ 注意

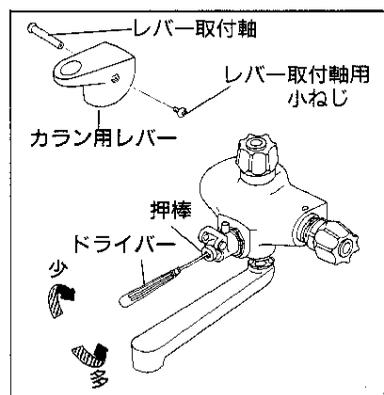
ピストンカートリッジのキャップを操作した場合圧力室底からピンが飛び出ます。圧力室底に指などが触れた状態でキャップを操作しないようにしてください。
けがをするおそれがあります。

注：組立の際はピストンカートリッジがゆるまないよう十分に締付けてください。

10

吐水量の調節方法

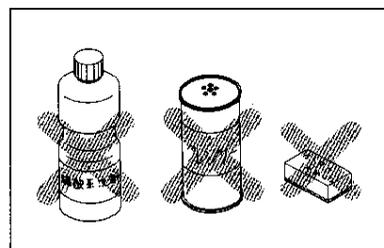
カラン側の吐水量を調節する場合は次の要領で行ってください。



1. レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカラン用レバーを取外す。
2. 吐水量調節ねじをドライバーで回転させて適当に調節する。
右回転……多くなる。
左回転……少くなる。
3. 押棒を押して吐水量を確かめる。
4. 調節が終わったらカラン用レバーを取付け、レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじがゆるまないように十分に締付けてください。

手入れのしかた

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいでください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときは、すぐに器具を十分水洗いしてください。

故障したときは

故障したときの修理は取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はお客様でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検	点検項目
■シャワーの吐水量が少ない	① ②	① 止水栓は全開されているか。 ② ストレーナの目づまりはないか。 ③ 混合栓に湯がきているか。 ④ 自閉弁のストレーナの目づまりはないか。 ⑤ 吐水量調節ねじの調節はされているか。 ⑥ レバー取付軸用小ねじはゆるんでいないか。
■カランの吐水量が少ない	① ② ④ ⑤	
■カランの吐水量が多い	⑤	
■カランの吐水時間が長い	⑤	
■高温しか出ない	① ②	
■低温しか出ない	① ② ③	
■カラン用レバーがガタつく	⑥	

※点検方法は「ストレーナ及び自閉弁の掃除」、「吐水量の調節方法」の項を参照ください。